

# ALSI、期間レンタル型オールインワンパッケージ「IoT FastKit™」に新機能追加 7月30日より提供開始

## センサが内蔵された「メッセージキューブ」を上に向けるだけで文字入力・音声通話をせずにメッセージ送信が可能に

アルプス システム インテグレーション株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長:永倉 仁哉、以下 ALSI[アルシー])は、期間レンタル型オールインワンパッケージ「IoT FastKit™」に新機能を追加し、2018年7月30日より提供開始することを発表いたします。

サービス名	IoT FastKit™ (アイオーティ ファストキット)
提供開始日	2018年7月30日
ターゲット	企業、官公庁、自治体、教育機関、店舗、宿泊施設、医療機関(病院・介護施設) など
提供価格(税別)	198,000円～ [基本セット: センサ(4個+予備1個)、IoT ゲートウェイ、SIM、2ヶ月間のクラウド利用料]
詳細情報 URL	<a href="http://www.alsi.co.jp/iot/">http://www.alsi.co.jp/iot/</a>

### ■「IoT FastKit™」の概要

現在、あらゆるモノがネットワークにつながる IoT<sup>※1</sup>の活用が進み、新たなビジネスの可能性が広がっています。ALSI は2017年7月より期間レンタル型オールインワンパッケージ「IoT FastKit™」の提供を開始し、お客様が IoT を導入する前提となる実証実験(PoC)<sup>※2</sup>を支援してまいりました。

「IoT FastKit™」は、アルプス電気のセンサネットワークモジュールを活用した、期間レンタル型のスターターパックです。実際の利用シーンを想定した「シナリオ」と呼ばれる管理機能と、様々なデータを取得することができる「センサ」<sup>※3</sup>や、「IoT Gateway」などの必要な機器・サービス一式が含まれ、申し込み時に利用したいシナリオを選択していただくことで、シナリオが予め設定された状態で届き、すぐに利用を開始することができます。

### ■主な新機能の特長

これまでの「IoT FastKit™」では、センサネットワークモジュールで温度や湿度、加速度、地磁気、UV、照度などのデータを収集し、そのデータをクラウド上にアップすることにより、データの分析と課題改善に役立てることができる仕組みになっておりました。この度、提供を開始する新機能では、データを収集しアップするだけでなく、データのインプットを行うことで、その後のアクションにつなげることができる情報発信を実現します。その手段として、シナリオラインナップに「メッセージキューブ」を追加いたします。「メッセージキューブ」の中にはセンサが内蔵されており、キューブ(立方体)の6つの面に予め設定した内容に合わせ、離れた場所にいる人に対してメールやメッセージにメッセージを送ることができます。例えば、会議に参加している人がキューブの面を上に向けるだけで、飲み物のオーダーやタクシーの送迎希望を出すなど、文字の入力や音声による通話をせずに、メッセージキューブを使って簡単に情報を発信することができます。企業だけではなく、飲食店や宿泊施設、病院、介護施設など、様々な活用シーンに対応することができ、幅広い IoT の検討ニーズに対応できるようになります。

選べるシナリオ

New



メッセージキューブ



熱中症予防アラート



温湿度モニタリング






ドア開閉モニタリング



動体モニタリング

New  
メッセージキューブ

キューブの面に割り当てたメール/メッセージが相手に届きます



➔


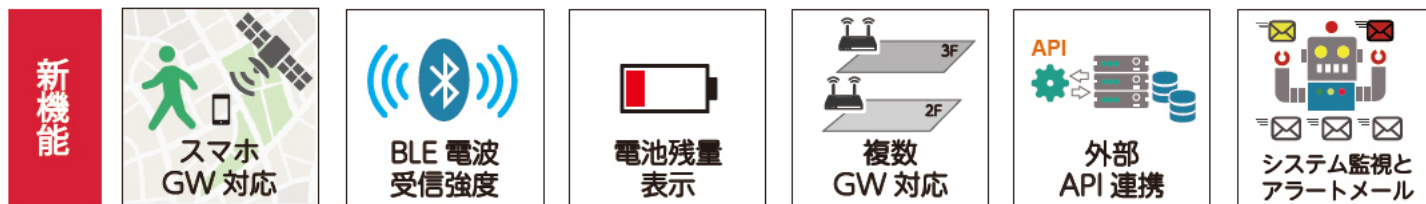
コーヒー

想定	飲食店	役員室	在席管理
1	なし	出社中	出社中
2	お水	離席中/取り込み中	離席中
3	ビール	お茶	集中タイム
4	追加注文	TAXI	昼食中
5	HELP	HELP	外出中
6	会計	帰宅	帰宅

メッセージは自由に変更できます

①利用したい面を上にする      ②数秒(任意)経過後にメール/メッセージ送信

## ■その他の追加機能

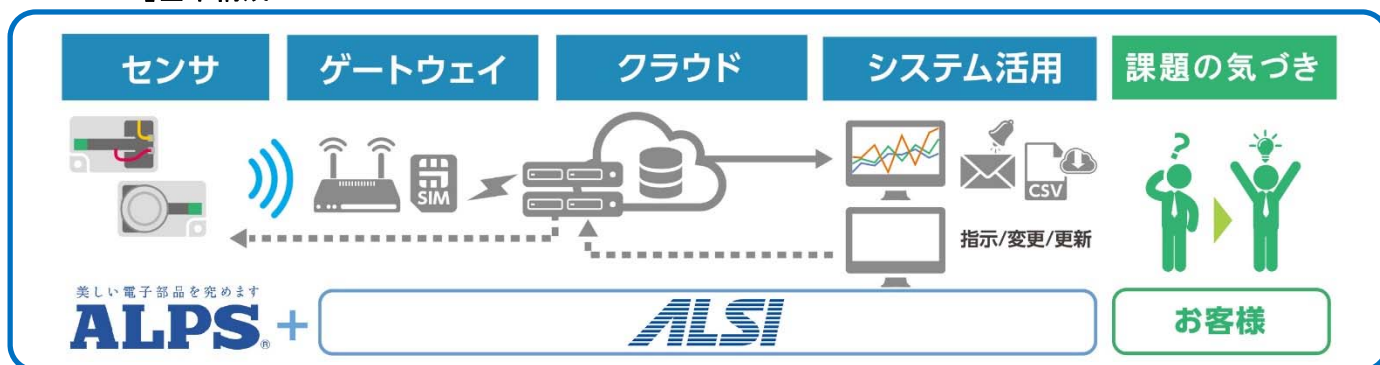


※外部システムとのAPI連携により、センサデータと既存システムデータを組み合わせ、新たな相関性の気づき等から業務改善が可能となります。

### 新規機能一覧

スマートフォン Gateway 機能	スマートフォン Gateway アプリ(オプション)、GPS 情報の取得
BLE 電波受信強度確認機能	機器設置時のRSSI(電波受信強度)の確認、通信維持のためのRSSI 閾値制限機能
センサ電池残量表示/アラート機能	センサ電池残量の表示、閾値設定によるアラート通知
複数 Gateway 追加機能	Gateway を複数個所に設置し(オプション)、一元管理が可能
外部 API 連携	他システムから API 経由で、データを取得することが可能(オプション)
システム監視機能	各機器・サービスの状態を一定間隔でプログラム監視し、異常時にアラート通知

## ■「IoT FastKit™」基本構成



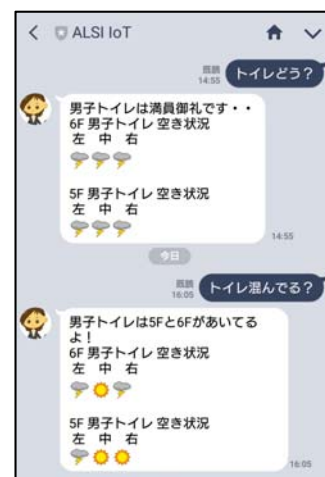
## ■「選べるシナリオ」: ドア開閉モニタリングの例

外部 API 連携の例として、「地磁気センサ」を用いたトイレのドア開閉モニタリングがあります。ALSI 社内においても「IoT FastKit™」を活用した実証実験を行っており、リアルタイムモニタリングシステムによるトイレの空き状況(使用状況)の確認を行っております。

トイレのドア開閉を検知し、利用状況や利用率を管理画面で確認することができるシナリオです。クラウドにアップされたデータは、外部 API 連携機能により社内システムなどと連携させることが可能です。

このシナリオを利用することで、管理者はトイレの利用状況を把握し、トイレの個数に対する各フロアの適切な人員配置に役立てることができるほか、利用者(社員)は、事前に混雑状況を確認することで、時間の有効活用にどのように役立つかを体感することができます。

外部 API との連携により、「IoT FastKit™」はソリューションとしてさらなる展開を広げることを目指しています。



▲男子トイレの空き状況 画面例

「IoT FastKit™」は、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウドコンソーシアムが主催する「第11回 ASPIC IoT・クラウドアワード 年 11 月開催)において、IoT・AI 部門「ASPIC 会長賞」を受賞しました。このアワードは、国内の IoT・クラウド関連業界の活性化、市場創造、事業基盤の確立、企業の生産性向上、さらに日本経済の発展に寄与する企業・サービスを表彰するものです。ALSI は今後も社会や地域、企業などに貢献することができる製品・サービスを提供してまいります。



※掲載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。 ※メッセージキューブを通じて送信されるメッセージは、インターネット通信が可能な場所であればどこでも受信することができます。 ※1 IoT: Internet of Things の略。物のインターネット。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。 ※2 PoC: Proof of Concept の略。 ※3 センサネットワークモジュールは温度、湿度、加速度、地磁気、UV、照度センサと BLE 通信モジュールを内蔵しております。

### 【このリリースに関するお問い合わせ・取材受付先】

※IoT FastKit™、メッセージキューブのデモンストレーションのご依頼も、お気軽にお問い合わせください

アルプス システム インテグレーション株式会社 管理部 管理課 広報担当 黒澤 宏子(くろさわ ひろこ)  
 E-mail: hiroko.kurosawa@alsi.co.jp URL: <http://www.alsi.co.jp/>  
 〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 1-7 TEL: 03-5499-8043 FAX: 03-3726-7050